

(別紙5)

整理番号 2021P-119

補助事業名 2021年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業

補助事業者名 NPO法人全国精神保健職親会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本事業は精神・発達障害者の特性に対応できる就労支援の専門家と企業内マネジメント担当者を育成し、そのスキル向上を図ることを目的とする。この目的を達成するため、本事業ではメンタルケアに対応するクラウド日報システムを就労支援や雇用の現場に提供し、支援活動の一助とするが、その成果は就労支援における福祉-企業の地域連携のスキームとして地域で共有し、実践事例として厚生労働省や自治体行政に対して発信することも本事業の目的である。

(2) 実施内容

➢ 2021年度 競輪補助事業完了報告

<https://vfoster.org/cases/> (URL)

1. 精神・発達障害者の雇用マネジメントをサポートするクラウドシステムの運用



クラウド日報システム 画面サンプル (左: 日報入力画面 右: 統計グラフ画面)

2. クラウドシステムを活用した雇用マネジメントのノウハウ研修会の開催



SPIS講座 基礎編 in 京都 (2021年7月20日)

(別紙5)



第1回 SPISノウハウ研修会 in 大阪 (2021年11月6日)



SPISセミナー スタートアップ編 in 福岡 (2021年11月13日)



SPISセミナー スタートアップ編 in 東京 (2021年12月3日)



年次事業報告会 (2022年2月28日)

(別紙5)



第2回 SPISノウハウ研修会 in 大阪 (2022年3月19日)



第5回 精神・発達障害者の雇用マネジメントを学ぶ
京都の企業と支援者の研修会 (2022年3月22日)

3. 精神・発達障害者の雇用マネジメントのノウハウ共有を図るWebコンテンツと啓発資料の作成

➤ 小冊子の編集・発行

職場の中で「障害のある同僚」をサポート
するあなたのための SPIS ヒント集
～コトバに寄り添い ココロでわかる～

(B5判 無線綴じ モノクロ 38 ページ)
(ホームページへ公開)



(別紙5)

➤ 動画の制作・公開

「お互いを理解し、チーム力がアップするWeb日報システム SPIS スタートアップ講座」(ホームページへ公開)

Part. 1
SPIS とはどんなシステム？



Part. 2
SPIS の活用による効果



Part. 3
SPIS 活用のポイント



(別紙5)

2 予想される事業実施効果

企業においては精神・発達障害者の状態変化は一見して分かりづらく、合理的配慮の提供や雇用管理が難しいため、企業担当者は当事者本人の状態変化や望まれる配慮事項を汲み取るスキルやノウハウを企業内に蓄積し、雇用マネジメントのスキルを向上させる必要がある。一方で、支援専門職においても企業で働く当事者へ適切な支援を行うに当たり、対象者の雇用現場での状況を随時入手する必要がある。

症状や心理状態が目に見えない精神疾患では、それら見えない部分を「見える化」してコミュニケーションの活性化が図ることで就労継続を実現する環境を構築しやすくなるが、本事業で普及を図るシステムはそのためのツールである。企業担当者は当事者の安定就労と雇用マネジメントスキルの向上が、支援専門職は当事者の雇用現場での状況を把握することで適切な支援を行えることが期待される。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

<https://vfoster.org/publication/> (URL)

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

<https://vfoster.org/publication/> (URL)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： NPO法人全国精神保健職親会（ゼンコクセイシンホケンシヨクオヤカイ）

住 所： 〒532-0011

大阪市淀川区西中島5-3-4 新大阪高光ビル801

JSN地域・企業連携事業部内

代 表 者： 理事長 中川 均（ナカガワ ヒトシ）

担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）

担 当 者 名： 三原 卓司（ミハラ タクジ）

電 話 番 号： 06-6307-1616

F A X： 06-6307-1313

E - m a i l： info@vfoster.org

U R L： <http://vfoster.org>